

開催協議会名	令和7年第4回松江警察署協議会		
開催日時	令和7年12月3日（水）午前9時45分から午前11時55分まで		
	公安委員	柿本章公安委員	
	協議会委員	9人	
	警察署	6人（署長、地域官、総務課長、交通総務課長、交通捜査課長、総務係長）	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	令和8年松江警察署速度取締指針
		説明概要	○ 令和8年中の交通指導取締りの方針及び重点路線・地区
		答申(意見等)	<p>1 夜間における歩行者との交通事故に関して、反射材着用の推進方策や啓発活動について伺いたい。</p> <p>【警察】 当署では各企業や団体等を反射材着用推進リーダー「松江キラリしじみ隊」に委嘱し、自ら夜間歩行中に反射材を着用してもらうなど、着用意識向上を図っている。</p> <p>また、反射材のアイテムも様々なものがあり、カバンに付けるもの、キーホルダータイプなど、それぞれの特色を生かして反射材の活用促進を図っている。</p> <p>2 速度の抑止に関して重点エリアにおける「ゾーン30」の指定について</p> <p>【警察】 今後の道路交通法施行令改正（2026年9月から）でセンターラインのない生活道路の法定速度が30キロと引き下げられ、全国的に生活道路対策が進むこととなる。現在のところ、松江署として新たな「ゾーン30」の設定の予定はない。</p>
委員からの 意見・提言	<p>1 警察署協議会連絡会議出席報告</p> <p>2 反射材の着用推進方策について</p>		

	<p>反射素材を使用した学生服の導入等の情報提供のほか、反射材付きエコバッグ（買物袋）配布で常に使用してもらうなど、着けていることを意識しない反射材の啓発活動、また、着用意識の低い大人等の普及方策が大切であり、まずは各人自らが着用の重要性と必要性を理解していくことが必要である。</p> <p>【警察】</p> <p>今後とも官民で連携して、様々な方法で反射材の着用促進を図って夜間の交通事故防止を推進する。</p> <p>3 危険な運転行為が撮影されたドライブレコーダー映像の提供による警察での活用方法</p> <p>【警察】</p> <p>提供された映像のみを持って、直ちに違反検挙となるものではない。ただし、捜査に活用することはあり、行為者に対しては指導や注意をすることはある。</p>
<p>視 察</p>	<p>交番・駐在所の視察</p>
<p>委員からの感想</p>	<p>交番と駐在所の業務やその違いを認識できた。</p>
<p>写 真</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【会長挨拶】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【署長挨拶】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【駐在所視察】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【公安委員総括】</p> </div> </div>